

Funehiki High School News vol.178

～がんばる船高生～
ATTENTION!

第58回 日本漢字能力検定2級に合格！石井美裕さん
実用英語技能検定2級に合格！國分結里愛さん

本校では、希望進路の実現を図るために各種検定・資格の取得を奨励し、さまざまな支援を行っています。今回は、日本漢字能力検定2級に合格した石井美裕さん（当時2年 大越中）と実用英語技能検定2級に合格した國分結里愛さん（当時2年 船引南中）に話を聞きました。

Q：検定を受けたきっかけを教えてください。

石井さん 資格は将来役に立つと考えています。3年生になると進路活動で忙しくなるので、2年生のうちに2級を取得したいと考えました。

國分さん 大学への進学を考えています。英検を受験した時は、具体的に受験したい大学が決まっていなかったのですが、どんな大学を選んでも自分の力となる英語には力を入れて勉強してきました。そのため、学校推薦型選抜入試や総合型選抜入試で評価の対象となっている英検2級の取得を目指しました。

Q：試験に向けての対策は？

石井さん 申込後にテキストを購入し、隙間時間を利用して勉強しました。もともと漢字の読みは得意だったのですが、四字熟語や類義語・対義語は苦手だったので苦手なところを中心に勉強しました。準2級よりもかなり難しかったので、始めはなかなか解けませんでした。勉強をするうちに解けるようになりました。

國分さん 課外や塾で対策をしました。課外では英検対策の問題を解き、塾では二次の面接対策を行いました。スピーキングが苦手なので、一次試験の結果が分かってから二次の面接対策をするのでは遅いと思い、一次試験が終わってすぐに面接練習を行いました。また、英語に慣れるため普段から洋楽を聴いています。

Q：実際に試験を受けた感想を教えてください。

石井さん 解答用紙にはすべて記入しましたが、自信がない問題もあったので手応えはあまり感じられませんでした。受かって本当に良かったです。

國分さん 練習の時に聞かれたことに対して自分の考えを英語でうまく話せないことがありました。しかし、その場合の対策も行っていたので、試験では落ち着いて答えることができました。

Q：今後はどんなことに取り組んでいきたいですか。

石井さん 美術系の大学への進学を希望しています。そのため、学業と両立しながら絵を描く頻度を増やしていきたいです。また、大学では、最先端の技術などを学び、自分が描いたイラストを使って多方面に活躍したいと考えています。

國分さん 法学部に興味を持ち始めたので、今後は大学を調べ、受験したい大学を決めて、試験対策をしていきたいと考えています。



◆デュアル実習、今年もお世話になります

船引高校と田村市、地元企業・施設の連携人材育成事業である「デュアル実習」の調印式が4月21日に本校で行われました。

式では、運営協議会長の市長と実習企業・施設代表として株式会社エクストエンジニア様から激励の言葉をいただき、実習生を代表して渡邊慧さん（3年 三春中）が「実習させていただけることに感謝し、田村市に貢献できる人材になれるよう、精一杯学びたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします」と実習に向けて決意を述べました。今年度のデュアル実習生は、2年生9人、3年生11人です。2年生は毎週木曜日、3年生は毎週火曜日に市内の企業・施設でお世話になります。どうぞよろしくお願いします。



福島県立船引高等学校 Tel…0247-82-1511 Fax…0247-82-5233
H P…<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail…funehiki-h@fcs.ed.jp



Catherine Lewis
キャサリン・ルイスさん
（アメリカ合衆国
オハイオ州出身）
田村市に来て3年目

パニックにならないで！
「インターナショナル・
パニック・デー」だから

クリスマスやお正月などが特別な日であるように、何気ない毎日でも特別な日「記念日」なのです。記念日にするのに難しいことはなく、何かお祝いすることを見つけたらいいだけです。そして、その記念日のほとんどは、少しクセのある人間がつくったものだと思っています。いくつか紹介すると「インターナショナル・デー」（10月1日）に一杯のコーヒーを飲むことを楽しんだり、「インターナショナル・ペット・デー」（4月11日）に最愛のペットを祝う

たりするものや、少し変わったものだと「パニックにならず、タオルを持ち歩こう！」という「タオル・デー」（5月25日）などがあります。

正直に言うと、私はこの題材を見つけたら、6月18日が「インターナショナル・パニック・デー」だと知りませんでした。スマートフォンを落とした時に画面が割れてしまったのはと心配することや、締め切りが午後4時の記事を午前11時なのにまだ書き始めていないことなど、理由は何であれ、さまざまな問題で誰でもパニックになります。このように誰もが経験する感情に気付かせてくれる記念日があるということは、人生いろいろ、さまざまな体験・経験をすることが大事だと教えてくれているのかもしれない。では、なぜ「喜び」ではなく「パニック」を6月18日に祝うのでしょうか。私には、はっきりした答えは分かりませんが、次の日に「父の日」を祝うのが関係



しているのではないかと考えています。とにかく、私は人生のいろいろな経験を祝うことが心から楽しいので、6月18日にパニックというユニークな経験を祝う日を私と一緒に過ごしてみませんか。

広告欄 : Advertisement

有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課（☎0247-81-2117）へ